

第12回白河市複合施設基本設計検討委員会 議事要約

1 日 時 令和5年1月19日(木) 13:30~15:20

2 場 所 白河市役所本庁舎 5階 正庁

3 出席者

委員長：市岡 綾子 (日本大学工学部 専任講師)

副委員長：藤田 龍文 (株式会社楽市白河 代表取締役)

委員：青砥 和希 (一般社団法人未来の準備室 理事長)

浅川 なおみ (白河市公民館運営審議会 副会長)

大住 由香里 (公募)

白岩 麗奈 (公募)

徳田 芳江 (白河市地域活性化協議会等連絡調整会議 委員)

平久江 勝志 (白河市消防団 白河方面隊長)

牧田 恵 (NPO 法人子育て環境を考える虹の会 副理事

白河市ファミリーサポートセンター 長兼アドバイザー)

村越 美穂子 (白河市健康づくり推進協議会 会長)

事務局：鈴石 市長公室長、仁平 地域拠点整備室長、八巻 主任主査兼係長

原 建築住宅課長、松川 課長補佐兼係長、山本 主査

その他：(株)石本建築事務所(富宇加、三井、荒井)

4 次 第

1. 開 会

2. 議 事

(1) 基本設計案に対する意見と対応方針について

(2) 基本設計案について

(3) その他

3. 閉 会

＜議事概要＞

【委員長】

(1) 基本設計案に対する意見と対応方針について、事務局から説明をお願いします。

(1) 基本設計案に対する意見と対応方針について

(基本設計スケジュール(予定)、複合施設整備基本設計案に対するパブリックコメント実施結果とその対応方針(案)、市民ワークショップでの意見と反映状況、基本設計(案)に対する検討委員会委員からの意見とそれに対する市の考えにより事務局が説明)

【委員長】

ありがとうございました。次回が最終回で、基本設計書の成果報告となっておりますので、本日が基本設計における実質的な最終検討の場となります。ただ今の説明に関しまして、ご意見やご質問をお願いします。

【委員】

最近の光熱費高騰の状況を踏まえて、コミネスやマイタウンでは、利用されていない部屋の照明や空調を切るなど、こまめな管理をしています。一方で、利用者からは「利用開始時に寒い」といった意見が出ています。空調のシステムによっては、ある部屋の空調をオフにしてしまうと、別の部屋もオフになってしまうこともあります。今後の検討事項かと思いますが、スイッチの配置を意識していただきたい。

【事務局】

吹き抜け部分については、3階まで繋がっているのですが、各階ごとの管理ではなく、一体的な空調管理が必要になると考えています。また、個別の部屋については、運営面も考慮していく必要があります。省エネ化やランニングコストも踏まえて、詳細については実施設計や管理運営計画にて検討していきますが、共用空間が暑かったり寒かったりしないようにしていきたいと考えています。

【株石本建築事務所】

吹き抜けの空調については全体的ではなく、人がいる場所のみの部分的な空調を行うなど、効率的かつ経済的な空調となるように計画しています。

【委員】

光熱費がどれくらいかかるのか、今の段階で試算できているのでしょうか。

【事務局】

現時点では試算できていません。正確な試算は難しいですが、実施設計段階でのZEB化の方向性を考慮しながら、管理運営計画の中で、全国的な事例も引用しながら、ランニングコストをお示ししたいと考えています。

(2) 基本設計案について

(基本設計平面計画(案)、広場・外観イメージにより事務局及び榊石本建築事務所が説明)

【委員長】

ありがとうございました。ただ今の説明に関しまして、ご意見やご質問をお願いします。

【委員】

先日の公民館クラブ会長会で説明された資料には、3階の多目的ルームの利用方法の1つとして、合唱などの音楽的利用が記載されていました。音楽的な利用は多目的ルームではできないと記憶していたのですが、利用方法は変更となったのでしょうか。また、防音の性能はどうなっているのでしょうか。

【事務局】

公民館クラブ会長会への説明で使用した資料は、パブリックコメントの際に全戸配布したもので、その部屋で想定される用途を分かりやすくするように、吹き出しでコメントをつけています。これまでの検討委員会においても提示してきており、以前から変更しておりません。多目的ルームについては、現在の中央公民館の大会議室のような使われ方の想定で計画しています。音楽以外にも、講演会、各種セミナーのほか、軽体操、ダンス、などの多目的な利用が可能な仕様とすることを想定しています。いわゆる音楽「ホール」のようなイメージではなく、あくまで多目的な部屋としての利用を想定していますので、音楽ルームのようなしっかりとした防音設備を施さないまでも、そういった活動も意識しながら、詳細な仕様については、今後検討してまいります。

【委員】

今後、学校の部活動が縮減していくことが予測されている中で、この施設がそういった部活動に代わる活動の場として使われていくことが想定されます。今までの公民館での活動だけではなく、今後を見据えた防音の仕様にしていただきたいと思います。

【事務局】

多目的な利用を想定した部屋であるため、音楽に特化した仕様というわけにはいきませんので、音楽的利用については、まずは音楽ルームをご利用いただきたい。なお、今後の管理運営計画を策定していく中でも、既存の活動されている団体だけではなく、市民参加という形で広く市民から意見を伺いながら具体的な設備関係について検討してまいりますと考えています。

【委員長】

多様な人々が集まっている複合施設で、子どもたちが発表している姿を見られるようにすることで、2次的・3次的な効果として人々との繋がりが生じることもあるかと思えます。可能な限り、今後を見据えた人の集まり方も意識した上で、検討を進めていただきたいと思います。

【委員】

全体的にとってもいい内容になったと感じています。その中で3点気になることがあります。

1つめは、本庁舎と複合施設を繋ぐデッキの部分がオープンになっています。例えば、転入手続きの際には、子ども医療費の手続きなどで、本庁舎から複合施設に移動する必要があります。風雨に晒されることを考えると、壁を入れた方がいいのではないのでしょうか。

2つめは、1階プレイパークについて、屋外にも遊び場がありますが、屋内は靴を履いたままの利用を想定しているのでしょうか。

3つめは、広場の舗装はどのようなものを考えているのでしょうか。イベントなどで自動車の乗り入れが想定されます。以前に管理していた場所は、石畳で頻繁に割れたりして、見栄えが悪くなったり修繕費用がかかったりしたので、こういう面も考慮していただきたいと思います。

【事務局】

1つめの通路についてですが、連絡通路を屋根・壁で完全に屋内化して施設を繋ぐと、本庁舎と複合施設は一体的な施設とみなされて本庁舎の環境基準性能を高める必要があるなど、建築基準法上難しい面があるため、現行案のような仕様となっております。また、今後は、業務手続きそのものを見直し、市民課の窓口で転入手続きされた方が子ども支援課の窓口に移動しないで済むようにしていくことなども検討する必要があると考えております。

2つめのプレイパークについてですが、現在のイメージでは、屋外は外履きで、屋内は靴を脱ぐことを想定していますが、実施設計の段階である程度プレイパークの内容が決まりましたら、パブリックコメントでの意見も踏まえ、見守りスタッフの必要性なども含めて管理運営計画の中で検討していきたいと考えております。

3つめの広場の舗装については、長年使っていく施設になりますので、コストとのバランスを考慮しながら、耐久性のある素材などについて、実施設計で検討してまいります。

【委員】

広場の砂場について、最近の幼稚園では砂場は設置しない傾向にありますので、参考までにお伝えします。水遊び場については、白河の気候風土的に、冬は凍結する恐れがあることに考慮する必要があります。夏場に涼を求めるのであれば、例えば、高速道路のサービスエリアにあるフラクタル日除けやミストシャワーの設置といった方法もありますので参考にしてください。

【事務局】

水遊び場については、昨年及び今年に開催したワークショップにおいて、要望が一番多かったものであります。今回の提案はあくまでもイメージということで、詳細については実施設計の中で検討してまいります。

【委員長】

ワークショップでは、子育て世代の皆さんから水遊び場の要望が多く挙がりましてので、意見を取り入れてイメージに反映させたとのことでした。日常的に利用される方達を考えると、高齢の方もおられますので、総合的な判断が必要になるかと思われます。また、

カフェの前に「ごろごろ広場」が設置されていると、カフェから広場への広がりという点で少なからず制限が生じてしまうなど、まだまだ検討すべきことは多々ございます。現段階ではあくまでもイメージということで、実施設計の段階でさらなる検討をお願いしたいと存じます。

【委員】

広場や大階段・テラスのイメージを見ると、公園のような感じがあり、ワクワクして大変楽しみです。私もまだ子どもが小さいので、どういうふうに遊ぶかなと想像しながら見させていただきましたが、水遊び場があるのが凄く面白そうだと一番最初に思いました。白河の近辺に水の出ってくる遊び場は見当たりません。プールまでは入らせたくないけど、ちょっと夏場に子どもと水遊びをしたいという親御さんたちは多いので、すごく喜ばれると思います。水遊び場があるだけで、人も多く来てくれるのではないのでしょうか。あとは、遊び終わった後の子どもはびしょ濡れになるので、着替える場所があるとありがたいです。

【事務局】

ワークショップでも、委員と同様の意見が出されていまして、意見を踏まえて、だんだんテラスの下に、簡易な更衣・シャワーブースを設けております。繰り返しになりますが、この広場についての提案はあくまでもイメージということで、詳細については、皆さんのご意見を踏まえながら実施設計の中で検討してまいります。

【委員】

シャワーブースまで必要かということもありますが、配慮されており、ありがとうございます。大変楽しみにしております。

【委員】

プレイパークのイメージとして、ネット遊具がありますが、耐用年数はどのくらいなのでしょう。また、メンテナンスや取り換え工事等のランニングコストは見込まれているのでしょうか。

【株式会社建築事務所】

一般的なネット遊具の耐用年数は、約15年程度となっております。詳細は実施設計に算出しますが、毎年の定期検査が定められていることから、傷んだ部分はその都度交換するなどの対応が必要となります。

【事務局】

庁内の議論の中でも、遊具の選定にあたって維持管理費も見込んで検討するようことの指摘がありました。今後、ランニングコストも踏まえて、遊具の内容を検討してまいります。

【委員長】

現時点での遊具は、あくまでもイメージではありますが、仮にネット遊具を取り入れた際には、既に導入している施設がありますので、維持管理も含めて先進事例を参

考にさせていただきたいと思います。

【委員】

施設全体的に子どもの遊び場が設けられていますので、周辺地域への騒音が想定されますが、現時点での対策などはあるのでしょうか。

【事務局】

屋内については、隣接する部屋への影響がないように防音機能を設けるようにしたいと考えています。屋外については、例えば、市民の広場を利用するイベントを開催する際には、町内会等通じて地域住民に事前告知をするなどのケアが必要だと考えています。屋外ではどのくらいの音が出るのか、現時点では想定できておりませんので、地域住民に対する配慮事項といったことも管理運営計画の中で検討していきたいと思っております。

【委員】

最近、他の自治体で、住民の苦情により子どもたちが遊んでいた公園が廃止された事例がありましたので質問させていただきました。そのようなことがないように願っております。

【委員】

施設の利用にあたっては、健常者をイメージして議論していますが、足が不自由で電動車椅子を使用して移動されている方もいらっしゃいます。市内には段差がある場所が多いイメージがあり、なかなか車椅子でいけるところも少ないように感じています。特にトイレは、障がいのある方の配慮が必要です。障がいのある方でも散歩ができたり、様々な方が一緒に楽しめる施設になっていただきたいと思います。

【委員長】

これからは新しいモビリティが登場する可能性がありますので、やがては高齢者も一人で自由に移動できる時代が来るかもしれません。徒歩や自家用車・バスではない来訪者がこの建物にアクセスする方法を考えていく必要があります。今の社会情勢に基づき完璧に作り込むのではなく、おそらく将来的に変わるであろうことに対し、余裕を持たせて対応できるように、思いやり・優しさのある設計を進めていただきたいと思います。

【委員】

子連れの利用者は、親世代だけでなく祖父祖母の世代なども想定されます。高齢の方が休めるように、未使用時の和室の利用など、休憩できる場所を設けてほしいと思います。また、窓が多いので、日差しが入ると夏は特に暑くなると思われまので、日よけみたいなものがあるといいと思いました。

【事務局】

和室については、前回の検討委員会の中でも、未利用時には開放して、いろんな方が休めるようにさせていただきたいとのご意見もいただきました。これに加えて、1階から3階にかけての空間で、座れるようなスペースや家具を設けていくことも、今後の実施設計や管理運営計画にて検討してまいります。また、日よけについては、施設南側の庇がないと思

われる部分のお話しかと思います。イメージ図では、局面の部分には屋根がかかっていますが、左側の3階の事務室の部分には屋根がかかっていませんので、この部分についても影響がないように検討してまいります。

【委員】

施設内で休憩できる場所があると助かります。高齢の方も利用するので、屋外だけではなく、施設内にもちょっと休めるような椅子やベンチなど、座れるところをたくさん設けてほしいと思います。

【事務局】

廊下の部分であったり、休憩が出来たりくつろげたりできる空間を意図しながら、実施設計の中で詳細に検討してまいりたいと考えています。

【委員長】

岐阜メディアコスモスでは、滑車が付いて移動できる置き畳状の家具があり、床座・いす座など姿勢を変えて様々な使い方ができるので、高齢者や高校生など、幅広い年代に利用されているようです。使い方を固定してしまうと活動を限定してしまいますので、利用者に場所の使い方を考えて使っていただけるようにすると、積極的に場に関わり楽しめる場がつけられ、自ずと市民が主体的に使い出しますので、今後はそういう考えも重要になってくると思います。実施設計の段階では、施設としてどうあるべきなのか、誰でも利用するイメージがしやすい空間のデザインを担っていただきたいと期待しています。

【委員】

前回の会議での意見を汲み取っていただいて、大変ありがたいと思っています。これまで議論を重ねてきた結果、様々な立場の方の納得解が詰まった良い基本設計になっていると実感しています。これからは更にできることを増やして行って、自信をもって運営に臨んでいただき、市民に使い倒されるような施設となることを目指していただきたいと思っています。

【委員長】

本日は、設計内容を変更するような意見はございませんでした。これまで沢山の議論を積み重ねてきましたので、委員の皆様からは、良い設計になったとのご意見をいただいております。この設計を活かすためにも、運営が大事になってきますので、事務局には、今後の実施設計や管理運営計画で頑張ってくださいと思います。

その他にご意見はありませんでしょうか。確認したいのですが、小峰通りから施設に入る部分は階段でご提案されていますが、これは決定なのでしょうか。

【事務局】

詳細は実施設計で検討してまいります。子どもが遊ぶ場と小峰通りをどう繋げていくのか、安全を確保することが一番ですので、例えば、植栽で繋げていく部分もあるかもしれません。ただ、入口としては、角にスロープ等を設けて、車椅子の方も上がれるように計画しています。また、南側の道路は坂道になっていますが、そちらからは道なりに歩道を通して安全に上がれるようになっております。小峰通り側の段差は、イベント時にはそ

ここで段々の場所で見られるというのはいいと思いますが、毎日イベントがある訳ではありませんので、安全性を一番に考えながら今後検討してまいります。

【委員長】

階段の部分はまだ決定ではないということでした。施設と小峰通りを繋ぐ重要な部分ですので、安全性に配慮しながら検討をお願いします。最後に、施設南側にあるプレイパークと屋外プレイパークとの関係性についてですが、箱形のジャングルジムを内外で繋ぐ構想もあるようですが、中では靴を履いて、外では靴を脱いでといった上下足の履き替えラインに違和感を覚えます。一方で、砂場やごろごろ広場へと向かう動線があります。また、必要性があるのかは分かりませんが、ジャングルジムが2階のテラスにまで上がっていく動線もあります。内外をシームレスにエリア分けできるように、今後の実施設計の段階で詳細にご検討いただきたいと思います。

施設内部については、これまでいただいたご意見を反映してきましたので、委員からの発言にもあったように、皆さんが納得した内容になっているのではないのでしょうか。一方で、屋外については、詳細はこれからとのことですが、映像で見せていただいた白河らしさに基づく提案には市民の皆さんが共感できる部分もあるように思われますので、今後は、このコンセプトを考えた方なども一緒に議論できるような体制で、実施設計の検討を進めていただきたいと思います。

【事務局】

ご意見を踏まえまして、今後の実施設計や管理運営計画においても、より良い施設となるよう検討してまいります。また、本日は変更・修正を求める意見等はございませんでしたので、立面図やパース図、模型などの成果品の取りまとめに向けて設計作業を進めてまいります。

(3) その他について

【委員長】

続きまして（3）その他について、事務局からお願いします。

【事務局】

次回の検討委員会の会議についてご連絡します。次回は、令和5年3月22日、水曜日、午後3時30分から、市役所4階の全員協議会室で開催いたしますので、日程の調整をお願いいたします。

【委員長】

それでは、私の役目はここで終了し、進行を事務局に戻します。皆様ありがとうございました。

【事務局】

それでは以上をもちまして、閉会とさせていただきます。委員の皆様には、長時間にわたり、ありがとうございました。